

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団DX推進事業

自治体名

富士吉田市

消防団名

富士吉田市消防団

1 事業の目的

消防団に消防団活動支援システムを導入し、災害出動における消防団員への円滑な招集指令及び情報管理体制を構築する。

また、平時における出動報告や各種案内等事務作業の効率化を実現することを目的とする。

2 事業内容

○ 消防団員がスマートフォンで操作できる消防団活動支援システム導入

- ・ 出動指令の通知や出動可否の確認を一元化し、迅速な人員配置を行う。
- ・ 水利情報や車両情報を可視化し、災害対策本部や常備消防との連携を強化する。
- ・ 現場の動画や災害情報、団員の位置情報などをリアルタイムで共有し災害対応の効率化を図る。
- ・ 平時には訓練等のスケジュール管理や資料配布をデジタル化し、情報を一元管理する。

3 事業成果

火災の覚知は様々あるが、消防団支援システムにより、あらかじめ決めてある出動範囲内の分団に、出動参集をオートメーション化することにより現場出動による負担を軽減する。

また、出動者の迅速な報告による分団初動の精度向上、各種報告・事務連絡等の迅速化・全員に情報等共有など消防団形成の成熟を見込む。水利やポンプ車等機器管理の情報管理もできる。

団員への出動負担の軽減、報告書類等のサポート。

これらスマートな消防団活動による周知(地域・住民等)を行い担い手不足が懸念される消防団員数を維持していく。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	1回	1回	
参加者	人数	対象500名	38名	
検討会・打合せ等	回数	3回	5回	

5 その他参考情報

元々各分団では、独自に既存通信インフラ(アプリ)を使用している。今回導入した支援システムは同アプリを使用しているため、操作の習熟度、各団員の参入等が比較的高くなった。

